

## 救命時におけるAEDの役割

臨床工学技士 石井忠宣

AED（自動体外式除細動器）とは、体に貼った電極から自動的に心臓の状態を解析し、心室細動という不整脈を起こしていれば、強い電流を流して心臓の状態を正しい状態に戻すものです。近年では、役場や学校などの公共施設、駅やホテルなどでも広く設置されています。

日本では、救急車が現場到着するまで平均約7分を要しますが、早期にAEDを使用することで、救命率が数倍高くなることが明らかになっています。AEDは、停止した心臓を電気ショックで再起動させるものではありません。そのため、心臓が動いている早期に使用する必要があります。

## 倒れている人がいた場合

①意識があるかないか話しかけ確認します。

②周りの人に救急車を呼んでもらいます。

③呼吸の確認を行い。呼吸をしていない場合は、人工呼吸を行います。（人工呼吸が難しい場合は省略しても構いません）

④心臓マッサージを行います。  
⑤AEDが到着したら、心臓に電気ショックを与えます。

## AEDの使用法

各メーカーによって少し異なる部分もありますが、基本的な使い方は次のとおりです

①電源を入れます。  
②電極パッドを描かれた位置に貼りつけます。

③心臓の状態が解析され、除細動が必要な場合、音声ガイダンスに従いスイッチを押します。

## AED使用中の注意

解析中や除細動時は傷病者から離れてください。除細動時は、強い電気ショックがあります。回復しても、救急隊到着まで電極パッドを貼ったままにしてください。

## ためらわずAEDの使用を

説明書もついており、操作は簡単なものが多いので、ためらわずに早期に行うことが大切です。各地の消防本部や日本赤十字社の支部が救命講習会を開催していますので、講習を受けてみてはいかがでしょうか。

ごみの減量と資源の有効利用を

## 資源回収団体に補助金を交付します

再生可能な一般廃棄物の回収活動を行う団体に対し、補助金を交付します。これにより、回収活動の活性化を図るとともに、ごみの減量と資源の有効利用、ごみ問題の意識の向上を図ります。

## ●補助金交付対象者

- 町内の自治会や生活学校、子供会、PTAなどの地域住民で組織する営利を目的としない団体。
- 資源回収活動を年度内に2回以上自立的に行うことができる団体。

## ●補助金交付対象資源

古新聞、雑誌、ダンボール、紙パツク、古着、アルミ缶

## ●補助金額

当該回収資源の重量  
1キにつき5円

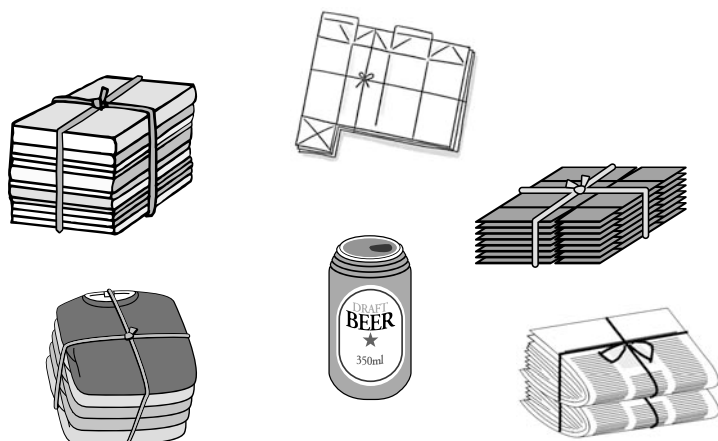
## ●提出書類

清掃工場（環境管理課）で受け取るか、町ホームページからダウンロードしてください。

## ●申請方法

年度初めに清掃工場（環境管理課）で資源回収団体登録を行ってください。

清掃工場（環境管理課） ☎ 33・5003



## ●請求方法

年度内の資源回収活動終了後、資源回収団体育成補助金交付申請書に回収実績を記載して、支払金口座振替依頼書、回収業者の仕切伝票（計量証明書）とともに清掃工場へ提出してください。